



臨時議員総会・ 7 月度議員懇談会

次期会頭の推挙を受け挨拶する八木会頭

7月1日午前11時より福井商工会議所ビルにて臨時議員総会・議員懇談会を開催、委任状19名を含む85名が出席した。

冒頭、安田泰三常議員（安田蒲鉾（株）会長）より、今秋の議員改選に向け次期会頭に八木現会頭の再任を推挙する旨の発言があり、会場の議員一致で、八木会頭の推挙を決定した。

八木会頭は謝意を示した上で、これまでの2年半について「コロナを経て正常化が進む一方、物価高や円安、人材不足などの課題に直面する会員企業の皆様に対し、商工会議所としてどのようにサポートできるのか模索してきた」と振り返った。また、昨年3月16日の北陸新幹線福井開業について「新幹線開業という一生に1回しかない機会に私たちがその場に居合わせられたのは、大きな幸運。このチャンスをしつかりとものにして、次の世代にどう繋げていくかを考えていきたい」と思いを語った。一方、福井アリーナについては、建設費の高騰により当初計画の2倍以上の規模となり、6月13日に県・市へ支援を要請したことを紹介（詳細は次ページ参照）。「杉本知事と西行市長からは、前向きな力強い回答をいただいた」と説明。今後については「2028年度の完成を

目指し、県内企業に留まらず、企業版ふるさと納税等を通じて、県外企業等への協力呼びかけについても、会員の皆様からのご支援をお願いしたい」と述べた。

この後、定款に基づき八木会頭を議長に議案審議に入った。第一号議案の定款変更（部会再編、拘禁刑への文言変更）に関して、嶋田専務理事より説明があり、原案通り承認された（詳細は44ページ参照）。

その後、議員懇談会の卓話として、「スポットワークという新たな働き方」と題し、（株）タイミーの小川嶺社長より説明があった。小川社長は日雇いで労働した経験の中から、人手不足にもかかわらず日雇い労働者が軽視される労働市場の矛盾を感じ、相互評価の仕組みでブラック企業をなくす課題解決ができないかと、タイミーを創業。現在18万社が導入し、全国1100万人が利用している。



説明する（株）タイミーの小川嶺社長

企業は即座に人材確保でき、働き手は履歴書・面接不要で即日勤務可能となっている。同社の辻明里北信越支社長からは、県内の働き手の利用数が昨年比1.5倍、事業者数も1.6倍となったことに言及。福井について「新幹線開業効果もあり、物流が盛んになり働き手の注目度も高いエリア」とし、県内企業のタイミーの活用事例についても紹介。最後に小川社長は「商工会議所をはじめ様々な組織との連携を加速して、人手不足や労働環境の改善に貢献していきたい」と呼びかけた。

【議員異動】（敬称略）

北陸電力（株）福井支店

（旧）塚本 明（支店長）

（新）梶崎 晴康（支店長）

（株）北陸銀行福井地区事業部

（旧）木田 弘誠（常務執行役員）

（新）前田 定和（執行役員）

（株）田中化学研究所

（旧）横川 和史（社長執行役員）

（新）紺藤 哲志（社長執行役員）

福井県民生活協同組合

（旧）松宮 幹雄（理事長）

（新）檜原 弘樹（理事長）

（二社）福井県旅行業協会

（旧）高井良民雄（代表理事）

（新）道場 久孝（代表理事）